

大 望 I

普通～抑制露地栽培用
4月下旬～8月中旬まき

強い耐病性・耐暑性品種で長期安定多収

特 性 ウドンコ病・ウイルス病 (ZYMV) に強く、夏期の劣悪条件下でもしおれにくく、過着果しないため、草勢の維持がやすく、果形の乱れも少ない。

耐病性 ウドンコ病耐病性で、ベト病・ウイルス病 (ZYMV) 等各種病害の発生も少ない。

雌花着性 5月～6月播種で40～50%、7月～8月播種で20～30%。主枝・側枝共に1果成りが中心で、連続着果性は高めである。

草 姿 葉は肉厚で濃緑色、葉柄はたれにくい。茎太く、側枝の節間は中位で、しっかりとした草姿となり採光性に優れる。

収量性 夏の高温・乾燥下でも、しおれにくく、草勢が安定している。最後までしっかりとした草姿を維持できるため、安定した収量が確保できる。

果 実 果長21cm位となり、果色・光沢よく、果揃い抜群で果形の乱れが少ない。



露地品種

大 望 I の 作 型												播種期 ●——●		定植期 🌱——🌱		収穫期 █████													
栽培地	作型	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	栽培地	作型	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
暖 地 中間地	前進露地				●	🌱	█████								東 北 冷涼地	前進露地				●	🌱	█████							
	普通露地					●	🌱	█████								普通露地					●	🌱	█████						
	抑制露地							●	🌱	█████						抑制露地						●	🌱	█████					

※播種・定植期は産地によって調整してください。

“作る”を感動に変える、おいしさを届けて60年。 本社 〒355-0167 埼玉県比企郡吉見町田甲1087



株式会社 と き わ 研 究 場

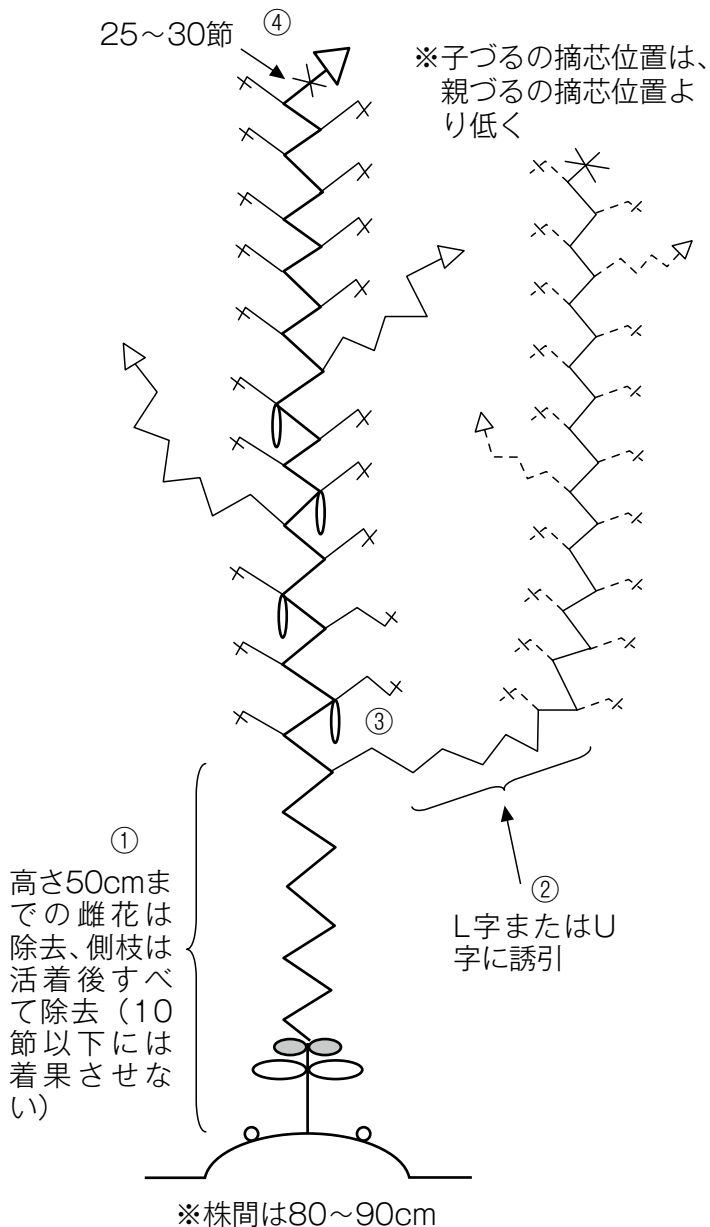
TEL.0493-54-1155 FAX.0493-54-1332

URL <http://tokiwa-cucumber.com/>

□ 東北営業所 岩手県北上市 TEL.0197-68-2840 □ 中部営業所 長野県上田市武石 TEL.0268-85-3560
□ 福島営業所 福島県須賀川市 TEL.0248-75-1594 □ 宮崎営業所 宮崎県宮崎市佐土原町 TEL.0985-73-3437

ときわ交配

『大望Ⅰ』の栽培ポイント



- ① 親づるの、8～10節目（ベットより50cm位）から子づるを一本残し、これより下の枝は除去する。
- ② 子づるを誘引する際、角度を鈍角（L字またはU字型）にする。また、親づると子づるの摘芯が同時期にならないよう注意する。
- ③ 親づるの着果位置を10節目以上とし、初期生育にしっかりした草姿をつくるよう心掛ける。また、伸ばす子枝の雌花も、状況により除去する。
- ④ 親づる摘芯位置は、枝の発生状況にもよるが、アーチ上部の空間を確保するため、高くし過ぎないようにする。
- ⑤ 親づるの摘芯時には、太く力のある枝（芯から4～5節目に雌花開花の枝で徒長していないもの）を2～3本確保する。
- ⑥ 特に収穫ピークからは、太く力のある枝を積極的に確保し、弱い枝は早めに止め、草勢の維持に努める。
- ⑦ 摘葉は草勢をみながら、採光・通風の妨げになっている葉から行う。

注意点

- 耐病性品種の中では、初期収量が抜群にあるため、10a当たりN成分30～35kgを目安に施肥し、即効性と緩効性を組み合わせて肥効のバランスをとる。
- 追肥は、側枝の雌花開花時期から液肥や葉面散布等を、早めのタイミングで行い、草勢を維持するようにする。
- アーチ内は常に光が入る環境をつくるよう心掛け、混ませすぎないようにする。